

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-4 都市・農山漁村空間の保全・整備
---------	-------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農村整備課長 中藤 直孝	電話番号	0852-22-5176
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	農村地域の定住条件の整備事業		
目的	(1) 対象	中山間地域の農村居住者等	
	(2) 意図	中山間地域の農村において、集落道や集落防災安全施設を整備し、安全で快適な生活環境を提供する。	
事業概要	・県営中山間地域総合整備事業【生活環境整備】（中山間地域居住者の利便性や快適性を向上させるための生活環境基盤や都市住民との交流基盤等を、整備要望のある地域に対して、有利な国庫補助事業を利用して整備する。）		

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		9.00	18.00	21.00	
式・定義	計画期間中に県営中山間地域総合整備事業で整備した防火水槽の受益戸数累計	実績値	0.00	9.00	9.00	21.00		
		達成率		100.00	50.00	100.00		%
指標名	集落道の整備により利便性が向上した集落の受益戸数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		26.00	166.00	166.00	166.00	戸数
式・定義	計画期間中に県営中山間地域総合整備事業で集落道が整備された集落の受益戸数累計	実績値	0.00	26.00	166.00	166.00		
		達成率		100.00	100.00	100.00		%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	40,165	47,935
うち一般財源(千円)	9,572	12,765

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

中山間地域総合整備事業では、農山漁村空間づくりの支援として、防火水槽、農業集落道等の生活環境整備を実施している。集落道路による福祉サービスや緊急車両を各戸に接続すること、防火水槽による火災時の初期消火用水確保は、安全で快適な生活環境の提供に貢献している。特に防火水槽の整備が可能な補助事業制度は少ないため、本事業に対する地域の要望は多く、前期（H20～H23）においては、追加要望に対しても柔軟に対応し、目標を大きく超える（実績/目標：247戸/167戸=148%）成果を上げている。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

成果参考指標としている防火水槽及び集落道路が整備された受益戸数は、それぞれ平成26年度末までの目標21戸に対し21戸（達成率100%）及び目標166戸に対し166戸（達成率100%）となった。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
 県土の85%を占める中山間地域においては、生産活動や生活面での条件が厳しく、過疎化、高齢化の進行が極めて深刻な状況となっており、多面的機能を有する農山漁村を管理出来る地域の居住者が不足している状況になっている。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
 中山間地域は生活環境面で都市部と格差があり、特に福祉サービスや緊急車両を各戸に接続する集落道路や火災時の初期消火に不可欠な防火水槽等の定住条件の整備が遅れている。
- ③原因を解消するための「課題」  
 定住条件である生活環境を改善する平成27年度の整備予算が不十分であったことから、平成28年度以降の整備に必要な予算を国に要望すると共に、整備コストの縮減に努める。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

中山間地域の農村居住者の利便性や快適性を向上させる生活環境整備を、関係市町村と課題を共有し、技術や計画面で支援を行い、安全で快適な生活環境の提供を行う。また、平成27年度の整備に必要な予算も不十分であったことから、平成28年度以降の整備に必要な予算を国に要望すると共に、整備コストの縮減に努める。平成28年度以降の予算も不透明であり、計画的な整備のためには、当初予算での予算確保が重要である。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）